

第11回全国精神保健福祉家族大会 in 兵庫

「精神疾患の本人と家族の明日を切り拓くために」

みんなねっと 兵庫大会

県政 150 周年記念の
神戸港・史跡巡りできる
兵庫県大会へ！

2018年 11月 26日 月

神戸ポートピアホテル 南館 1F ポートピアホール
(078)302-1111

JR 三宮からポートライナー線に乗り替えて市民広場駅下車直ぐ

全国大会 2 日間通じて手話通訳対応



11月 27日 火

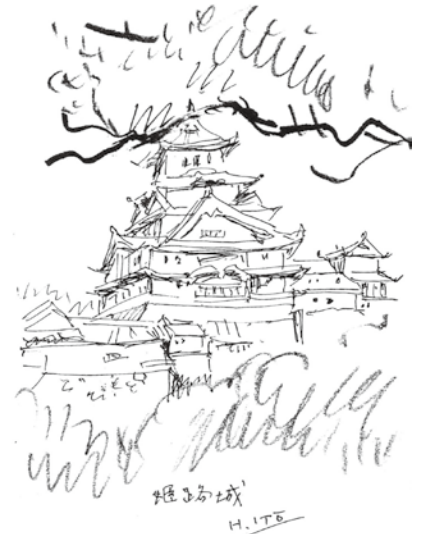
神戸国際会議場 (078)302-5200

市民広場駅下車直ぐ

この兵庫大会は、県政 150 周年記念の特認事業に決定しました！



平成 30 年、兵庫県は、成立 150 周年を迎えます。
この節目にあたり、ふるさと兵庫を再認識し、
新たな兵庫づくりを考える機会とするため、
当該事業を実施します。



絵／伊東久雄 (家族) 作

参加費 **3,000**円 障がいのある人 **500**円
学生 **1,000**円 (高校生以下は無料)

兵庫大会事務局

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2 丁目 1-1
兵庫県福祉センター 6 階

兵庫県精神福祉家族会連合会

TEL (078)891-3871、FAX (078)891-3872

E-mail hyokaren@citrus.ocn.ne.jp (内容問合せ)



主催：公益社団法人 全国精神保健福祉社会連合会 (みんなねっと)

公益社団法人 兵庫県精神福祉家族会連合会 (ひょうかれん)

協力：(一財) 神戸観光局・神戸コンベンションビューロー

目 次

目次	1
主催者挨拶	
（公社）全国精神保健福祉会連合会理事長 本條 義和	2
（公社）兵庫県精神福祉家族会連合会会長 米 靖弘	3
プログラム	4 - 5
開催要綱	6

1 日目

基調講演

『精神疾患を正しく理解するための教育の必要性について』 ～何故日本では、精神疾患の教育が進まないのか、世界はどうか～ 講師プロフィール・講演要旨	7
--	---

特別講演

『心の病とはなにか - 物質と物質でないもの -』 講師プロフィール・講演要旨	8
--	---

2 日目

第1分科会	9
第2分科会	9
第3分科会	10
第4分科会	10
第5分科会	11
第6分科会	11
アトラクション	12
午後のアトラクション	13
相談コーナー等のご案内	14
申込のご案内	15-19
みんなねっと出版物と賛助会員の申込	20

主催者ご挨拶



みんなねっと全国大会を神戸の地で開催するにあたり主催者の一人として一言ご挨拶申し上げます。本年は明治維新以来150年の節目の年ですが、兵庫県にとりましても県政150年の年であります。また、来年には平成の年号が変わります。精神保健福祉に関しても、呉秀三先生が「精神病者私宅監置」を刊行されてよりちょうど100年となります。このように大変意義深い年に兵庫県で「精神疾患の本人と家族の明日を切り開くために」をテーマとして全国大会を開催することができますことに兵庫県出身者として大変うれしく思います。

さて、本年4月1日から改正障害者雇用促進法が施行され、雇用率が従来の2.0%から2.2%に上昇します。また、精神障害者の雇用義務化が図られることから「精神障害者に限り、従来、短時間雇用として0.5にカウントされていたものを、1.0としてカウントすることになりました」そして、そのような方策によって量的な雇用促進を図るとともに、障害があっても本人の希望や特性に合った仕事ができるよう、多様な働き方のニーズ等に対応した障害者の働き方の質の向上を、障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会で現在検討がなされています。幸い、みんなねっとは同研究会並びに、労働政策審議会障害者雇用分科会に精神障害者当事者団体を代表し、参画していますので積極的に意見表明をしてきました。先ほどの短時間雇用の見直しは、その成果の一つと言えます。更に、精神障害者就労については、定着率が低いという課題が残っていますが、「定着率、就職率が高いだけでなく精神疾患の再発率や再入院率が低くなるという」IPSモデルなども、みんなねっととして、提唱していきたいと考えています。

また本人の意思決定は、医療や福祉サービスの提供者側の説明と本人の同意というインフォームドコンセントではなく、サービス提供者と利用者が共同でサービス内容や目的を決定していくSDM(シェアード・デジジョン・メイキング)を提唱していきたいと考えています。

もちろん、精神保健福祉の課題は山のようなのですが、課題の一つ一つを全国大会などを通じ、兵家連の皆様はじめ全国の同志の皆様のお知恵お力を拝借しながら役職員一同より一層精進してまいる決意ですので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

今日ご参加の皆様にとりまして本大会が実りあるものとなること、また皆様のご健勝ご多幸並びにご活躍をご祈念申し上げ主催者挨拶といたします。

公益社団法人全国精神保健福祉会連合会
理事長 本條 義和

主催者ご挨拶



“2020年東京オリンピック・パラリンピック”の開催が決定しました。早速、政府は「大会の成功条件として、安全、安心、メダルもあるがパラリンピックを成功させる為には欧米諸国に遅れていると言われる、障がい者も高齢者も、健常者も一緒に共生社会を造ることが最大の課題と考えています」との発言で「心のバリアフリー分科会」を設立し推進しています。

しかし、精神障がい者の殺傷事件や私宅監置事件等は後を絶たちません。その原因と考えられる精神障がい者に対する「偏見や差別のバリア」は地域に広く、深く定着しており、永い間据え置かれてきた「心の健康教育」を学校の義務教育として直ぐにでも再開し正しく理解する必要があります。また地域や職場の自主学習会等でも精神障がい者への正しい理解を深める事が是非必要です。今こそ原点に立ち返り、全国民に訴え、お互いにタブーにし曖昧にしてきた課題を正す絶好の機会だと思います。

近年、国連の障害者権利条約への加盟、障害者自立支援法の改定、障害者差別解消法の制定など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しました。しかし、精神障がい者の地域移行・地域定着をめざす種々の対策にも拘わらず、目的の入院患者の減少は遅々として進まず、はたして今までの医療の在り方で正しいのか等の不安を感じる心境にあります。

そこで、第11回みんなねっと兵庫大会のテーマは、当事者及び家族のニーズを中心に先駆的な取り組みについて「精神疾患の本人と家族の明日を切り拓くために」、としました。

私たちは、「精神障がい者一人ひとりが個人として尊重され、社会生活が送れるよう、また同時に障がい者と同等の困難を抱える家族の生活を切り拓くため」の方策について協議し実践につなげていく大会にしたいと思います。

幸い、兵庫県では「県政150周年記念県民連携事業」を開催しており、活力ある兵庫県で“最高のおもてなしを”と皆様方のご来場をお待ち申し上げます。

公益社団法人 兵庫県精神福祉家族会連合会
会長 米 靖弘

みんなねっと兵庫大会 プログラム

第1日

11月26日（月）ポートピアホール（神戸ポートピアホテル）

- 10:00 受付開始
- 11:00～11:45 オープニングアトラクション
うた三線（淡路ぬ二セター）
和太鼓（五色太鼓“響き”）
- 11:45～12:00 休憩
- 12:00～12:50 開会式
開会のことば 公益社団法人兵庫県精神福祉家族会連合会会長 米 靖弘
主催者挨拶 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会理事長 本條 義和
来賓祝辞 兵庫県知事 井戸 敏三
神戸市長 久元 喜造
来賓・祝電紹介
- 12:50～13:00 休憩
- 13:00～14:20 基調講演
『精神疾患を正しく理解するための教育の必要性について』
～何故日本では精神疾患の教育が進まないのか、世界はどうか～
愛知県立大学准教授 山田 浩雅
- 14:20～14:30 休憩
- 14:30～16:00 活動報告
『みんなねっと活動報告』 みんなねっと理事長 本條 義和
行政報告『精神保健福祉の動向』厚生労働省より（予定）
- 16:00～16:10 休憩
- 16:10～17:30 特別講演
『心の病とはなにか - 物質と物質でないもの -』
東京都医学総合研究所 病院等連携研究センター センター長 糸川 昌成
- 17:30～17:40 休憩
- 17:40～17:50 平成31年度開催の愛知県の紹介
- 18:15～ 懇親会（同ホテルの大輪田の間）
宝塚OG（但馬 久美）の出演

第2日

11月27日(火) 神戸国際会議場各室

9:00 分科会受付開始

9:30～11:30 各分科会

■第1分科会

『はじめてます！！こころの不調・病気を学び回復を支える授業』

桃山学院大学教授 栄 セツコ 他(こころ・あんしん Light カンガルー部会) 他5名

■第2分科会

『当事者の力、自立と経験を活かす(ピアサポーター活動)』

障害者相談支援センター輪っふるセンター長 角野 太一 ピアサポーター3名

■第3分科会

『薬だけに頼らない精神疾患との向き合い方』

NPO 法人予防医学・代替医療振興協会理事長 神津 健一

NPO 法人日本ソーシャルフットボール協会理事 真庭 大典

■第4分科会

『私たちが求める家族支援について』

兵庫県立大学准教授 川田 美和(オープンダイアログ)

ノートルダム女子大准教授 佐藤 純(メリデン) 他3名

■第5分科会

『閉じこもっている本人とその家族の支援は』 ～家族と家族会の力と役割～

日本福祉大学教授 青木 聖久 他4名

■第6分科会

『就労移行支援と定着』

兵家連理事 大倉 正也

(社福) すいせい (社福) あすなろ福祉会(岡山)

11:40 アトラクション 『音楽によるひと時を』

一般社団法人兵庫県音楽療法士会 職員団

12:35 閉会式

13:30 楽しいクラウン(道化師) & エンターテイメントショー

(出演: G・E-JAPAN、社会福祉法人かがやき神戸「土曜日の天使達」)

15:30 終了予定



開催要綱

～ 精神疾患の本人と家族の明日を切り拓くために ～

趣 旨

“2020年東京オリンピック・パラリンピック”の開催が決定しました。早速、政府は「大会の成功条件として、安全、安心、メダルもあるがパラリンピックを成功させる為には欧米諸国に遅れていると言われる、障がい者の方も高齢者の方も、健常者の方も一緒に共生社会を造ることが最大の課題と考えています」との発言で「心のバリアフリー分科会」を設立し推進しています。この分科会に参加しているみんなねっとは学校での「こころのバリアフリー教育」について意見を述べ、教育は偏見・差別の解消のための最大の手段であるとして、義務教育課程でのカリキュラム化を提唱しました。

精神障がい者への偏見や差別のバリアは広く、深く定着しており、永い間放置されてきた学校教育における本格的な精神保健プログラムを推進することによってこのバリアを取り除くことが望めます。同時に地域や職場での精神障がいへの正しい理解を深める事も是非必要です。原点に立ち返り、全国民に訴え、お互いにタブー視し、曖昧にしてきた教育・啓発の課題を克服することによって、今こそ偏見・差別のバリア除去への道を開く絶好の機会だと考えます。

近年、国連の障害者権利条約への加盟、障害者自立支援法の改正と障害者総合支援法への改称、障害者差別解消法の施行など、法・制度等の環境は大きく変化しました。しかし、精神障がい者の地域移行・地域定着をめざす種々の対策にも拘わらず、入院患者の減少は遅々として進まず、一方、入院患者の拘束・虐待が目立ち始めるなど、はたして今までの精神医療と福祉の在り方でいいのか等の不安を感じるのが多くの家族の心境であります。

みんなねっと兵庫大会では、当事者及び家族の切実に要望する立場から、各方面にさまざまな新しい活動や研究動向を探り、この大会に集めようと努力しました。

私たちは、「精神障がい者一人ひとりが真に尊重されて社会生活が送れるよう、また障がい者とともに居る家族が安心できるよう、障害者及びその家族の明日を切り拓くための方策について協議し実践につなげていく大会にしたい」と思います。

(2018年3月)

会期	2018年11月26日(月)・27日(火)
会場	神戸ポートピアホテル 南館1Fポートピアホール(11月26日) 神戸国際会議場(11月27日)
主催	公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと) 公益社団法人 兵庫県精神福祉家族会連合会(ひょうかれん)

基調講演

『精神疾患を正しく理解するための教育の必要性について』

～何故日本では、精神疾患の教育が進まないのか、世界はどうか～

愛知県立大学

准教授 **山田 浩雅**



■ 講演要旨

“もっと早く精神の病について知っていたら・・・”

“精神の病気ってどう対応したらいいのか？わからないことだらけ・・・”

“どう理解したらよいのか？”と。ずっとこの問題を抱えてきた歴史があります。

皆様もご存知のように、日本の精神保健福祉の法律は変わっても根本的な考え方、

偏見、ステイグマはまだまだ根強く残っているのが現状です。それについては、やはり日本の「教育」がうまく機能していなかったことが大きかったと思われます。何故機能しなかったのでしょうか。

私たちが望むことの1つは、全ての人々が偏見の少ない生きやすい国・時代にしていくことです。オーストラリア・イギリス・カナダ等では、精神保健教育(メンタルヘルスリテラシー)が早期に小・中学校で正しい教育がなされ、当たり前で精神疾患を理解し、対応を学び、誰もが関心を持って障がいを持った方々やその家族の方々に対する支援活動へと結びつけられているようです。

これからの若い世代の方に、精神疾患が特別なものではなく誰でも起こる病気であることとして、当たり前で知ることができるように、そして家族会の皆様には、メンタルヘルスリテラシーへの肯定的な後押しをしていただき、さらに教育・啓発活動を広げていけたらと思っております。

私の講演でお伝えできるのは、みんなねっと(2015.10)-に掲載内容プラス最近の情報が中心となります。

1. 日本の教科書の歴史と進まなかった教育背景 2. 海外の現状(オーストラリア、カナダの例) 3. メンタルヘルスリテラシーの現状について 4. 家族会の皆様への希望について、お話しさせていただく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

■ プロフィール

1963年愛知県生まれ。藤田保健衛生大学衛生学部卒業後、東京三鷹の長谷川病院、愛知県立城山病院(現愛知県立精神医療センター)の精神科看護師として10年間従事。1996年愛知県立大学の精神看護学の教員となり、現在准教授として看護学生に精神看護の魅力を伝えています。主な研究テーマは、思春期における精神保健教育に関する研究で、精神に関する正しい理解を広げられるような取り組みをしています。

特別講演

『心の病とはなにか — 物質と物質でないもの — 』

東京都医学総合研究所

副所長 **糸川 昌成**



■講演要旨

17世紀にフランスの哲学者デカルトが、世界を「物質」と「物質でないもの」に分け、物質のみの法則性を探求する近代科学という領域を立ち上げました。科学はすぐに医学へ応用されると、コレラや結核といった感染症を攻略しました。次に、糖尿病や高脂血症のような慢性疾患のコントロールまで手中におさめると、最後の秘境である脳へ守備範囲を広げたのです。ただし、ここまで登場した結核菌や血中の糖分にしても、すべてデカルトが科学の対象と認めた「物質」です。近年の生物学的精神医学とは、精神症状という「物質でないもの」を初めて相手にした科学（物質しか扱わない）に他なりません。ただし、心の病には脳（モノ）と出来事（コト）の要素があり、体験と因果関係がない「病気」と、体験と因果関係がある「病気でないもの」が含まれています。薬は脳（モノ）に作用しますが、出来事（コト）には効きません。脳をくまなく研究しても尊厳というたんぱく質（モノ）は見つからないのです。尊厳とは、目の前の人をかけがえのない相手として丁寧に大切に遇したとき、遇された相手と遇した自分の間に発生する共鳴現象（コト）のようなものです。気持ちを汲む、心寄せる、心を含めるなどもコトに他なりません。人が回復するには、モノ（脳）とコト（尊厳・自尊心など）の両方への手当てが必要となるのです。

■プロフィール

- H元年 埼玉医科大学卒業 京医科歯科大学 精神神経科 研修医（融道男教授）
- H2年 福島県 四倉病院精神科 常勤医
- H3年 筑波大学 人類遺伝学教室 研究生（有波忠雄助教授）
- H5年 東京医科歯科大学 精神神経科 医員（融道男教授）
- H6年 東京大学脳研究施設 生化学部門 研究生（芳賀達也教授）
- H8年 Molecular Neurobiology Branch, National Institute on Drug Abuse, National Institutes of Health, Visiting Fellow (George Uhl 教授)
- H11年 理化学研究所 分子精神科学研究チーム 研究員（吉川武男チームリーダー）
- H13年 東京都精神医学総合研究所 精神分裂病部門 部門長（副参事）都立松沢病院精神科 非常勤医師
- H16年 東京都精神医学総合研究所 統合失調症プロジェクト プロジェクトリーダー（副参事）
- H23年 東京都医学総合研究所（研究所の統合移転）統合失調症・うつ病プロジェクト プロジェクトリーダー（参事）精神行動医学研究分野長
- H27年 東京都医学総合研究所 病院等連携研究センター長
- H28年 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 客員教授
- H30年 東京都医学総合研究所 副所長 病院等連携研究センター長

第1分科会

『はじめてます！！こころの不調・病気を学び回復を支える授業』

コーディネータ	桃山学院大学大学教授	栄 セツコ
シンポジスト	芦屋学園短期大学教授 (特)こころ・あんしんLight 大阪人間科学大学助教 尼崎市保健所疾病対策課精神保健担当係長	木下 隆志 松永 貴久美 富澤 宏輔 香川 宗久
司会	京都精神保健福祉推進家族会連合会会長	野地 芳雄

精神疾患の方への今なお続く偏見や事件、その解決のためには病気に対する正しい理解がスタートですが、これが最も遅れています。

当事者・家族・学校・支援関係者が協力し実施している、こころの病ある人への理解教育のとりくみを紹介。課題と展望を語り合いたい。

第2分科会

『当事者の力、自立と経験を活かす（ピアサポーター活動）』

コーディネータ	障害者相談支援センター輪っふるセンター長	角野 太一
シンポジスト	障害者相談支援センター輪っふるピアサポータ 特定非営利活動法人中央むつみ会 ピアサポーターズくらぶ代表 特定非営利活動法人あすなろ(三田市) ピアサポータ	谷 加代子 笠原 健 西村 浩一
司会	滋賀県精神障害者家族会連合会会長	尾畑 聡英

最近のピアサポータ活動は裾野が広がってきました。精神科病院の長期の入院者に対する退院促進などにも実績をあげています。

ピアサポータ活動の現況と今後について、支援や制度面への希望も含めて広く語り合う場にしたい。

第3分科会

『薬だけに頼らない精神疾患との向き合い方』

コーディネータ兼司会 シンポジスト	兵庫県精神福祉家族会連合会副会長 NPO 法人予防医学・代替医療振興協会理事長 NPO 法人日本ソーシャルフットボール協会理事	新銀 輝子 神津 健一 真庭 大典
----------------------	---	-------------------------

精神疾患は本当に不治の病なのか、薬は今のよう強い副作用のあるままでいいのか。もっと自然に備わった人間の治癒力を活かす方法はないのだろうか。家族からの切実な思いに応じて、症状を改善する新しい方法（食事療法、運動療法）の可能性を探りたい。
尚、新しい方法としての音楽療法については、分科会終了後のアトラクションにて実体験をして頂きます。

第4分科会

『私たちが求める家族支援について』 ～家族ぐるみの支援をさらに～

コーディネータ兼シンポジスト シンポジスト	兵庫県立大学准教授 ノートルダム女子大学准教授 白梅学園大学准教授 訪問看護ステーションゆうなぎ代表取締役	川田 美和 佐藤 純 杉本 豊和 山本 波代
司会兼シンポジスト	大阪府精神障害者家族会連合会会長	倉町 公之

当事者への支援は多くなってきたが、当事者の最大の支援者である家族は疲れ、経済的にも消耗してしまっている。その家族への支援はまだ支援サービスにまでなっていない。

家族の当事者への支援は当たり前と考えられてきたがそうだろうか。家族ぐるみの支援により当事者と家族と一緒に元気になる道を探りたい。

第 5 分科会

『閉じこもっている本人とその家族の支援は』

コーディネータ	日本福祉大学教授	青木 聖久
シンポジスト	奈良県精神障害者家族会連合会	会長 奥田 和男
	兵庫県精神福祉家族会連合会	理事 伊東 久雄
	木の芽家族会会長	藤田 睦
司会兼シンポジスト	和歌山県精神保健福祉家族会連合会副会長	大島 信雄

寝屋川市や三田市において、痛ましい事件が続きました。これらの事件を通じて閉じこもり、放置された精神障がい者の問題が改めて浮かび上がりました。外部からの強力な支援の無い中で、未だにどこにもつながらず、先の光が見えない本人や家族が多く、家族会のかねてよりの困難な課題となっています。本分科会は、各地で模索され、試行されている新しい取組みを紹介し、これらを通して、家族と家族会の力や役割について考える機会とします。

第 6 分科会

『就労移行支援と定着』

コーディネータ兼司会 シンポジスト	兵庫県精神福祉家族会連合会	理事	大倉 正也
	社会福祉法人すいせい理事長		岸田 耕二
	社会福祉法人すいせい元利用者現職員		田中 理英子
	社会福祉法人あすなろ福祉会(岡山市)		畝木 奈津恵
	社会福祉法人あすなろ福祉会元利用者現職員		木村 健太郎

精神障がい者の就労は目先、増加し始めてはいるが、継続的な就労が困難で、定着性に劣るため、他障害に比べると精神障がい者雇用は顕著に少ない状況が変わっていない。就労移行支援と就労後の定着向上のための各地域の努力を紹介し、我々家族に出来ることはなにかを考えたい。訓練から就労への段階を踏んでゆくオーソドックスな移行支援に対し、先に就労してから慣らしてゆく IPS プログラムによる移行支援、そしてこれらの移行支援における定着支援について語り合う。

【兵庫県音楽療法士会による音楽療法の紹介】

兵庫県音楽療法士会は、阪神淡路大震災をきっかけに兵庫県が養成した音楽療法士が2002年に設立しました。2012年に一般社団法人となり現在会員は260余名になっています。障がいを持つ方、高齢の方、病気の方などに音楽で関わることで対象の方の生活が向上すること願って、日々活動しています。最近は更に多くの方々に音楽療法を知って頂くために、音楽療法士ならではの参加型コンサート活動にも力を入れています。本日お目にかかりました皆様にも音楽療法を体験して頂き、音楽の持つ素晴らしさを共感して頂けましたら幸いです。



【楽しいクラウン（道化師） & エンターテインメントショー】

G・E-JAPAN, 及び社会福祉法人かがやき神戸の「土曜日の天使達」

世界初！障がい者によるプロ・クラウンチーム社会福祉法人かがやき神戸「土曜日の天使達」と、関西を代表するエンターテイン・カンパニー「G・E-JAPAN」のとびきり楽しい参加型エンターテインメントショーを通じて、障がい者理解を進める。



各種コーナーの設置紹介

1 書籍販売コーナー（みんなねっと、コンボ、やどかり）

精神疾患に関する有益な情報を提供予定しています。

2 物品販売コーナー（追って、募集予定）

3 薬剤師による相談コーナー

直接主治医に聞けない薬の副作用や減薬についても相談できます。

4 社会労務士による障害年金の相談コーナー

諦めずに障害年金取得を考えましょう。障害年金は正当な権利です。

5 精神保健福祉士による相談コーナー

我が子のために、兄弟や夫や妻のために、そして自分のために、この病に
対峙して行く場合の専門家の方からのアドバイスはきっと今後の進め方に
役立つと思います。是非、気軽に相談下さい。

- ・ 開会式から閉会式まで手話通訳を計画していますので、事前に
申込みをお願いします。
- ・ 基調講演から6分科会まで講演内容と討議の内容を記録誌に反
映する計画をしています。ご要望があれば受付で申込みお願い
します。

第 11 回全国精神保健福祉家族大会 in 兵庫 申込のご案内

この度表記大会が開催されますことをお慶び申し上げます。開催にあたり全国よりご参加いただく皆様の手配を株式会社 JTB 神戸支店が担当させていただくことになりました。下記にご案内申し上げますので、内容をご検討の上、お申込賜りますようお願いいたします。

➤ 宿泊のご案内（募集型企画旅行契約にて承ります）

ご案内する宿泊は株式会社 JTB 神戸支店が取扱う募集型企画旅行です。旅行条件要約をお読みいただいた後、お申し込みください。

旅行日程(宿泊設定日)：平成 30 年 11 月 25 日（日）、26 日（月）

添乗員：添乗員は同行いたしません。ご自身で手続きを行っていただきます。

最少催行人員：1 名

下記記載の旅行代金は、お一人様あたり 1 泊朝食付、税金・サービス料込の宿泊代金です。

申込は先着順での受付となります。部屋数には限りがございます。満室によりご希望に添えない場合は、記載の他の宿泊施設でのご案内となることがございますので予めご了承願います。

シングル 記号	ツイン 記号	施設名	アクセス	旅行代金 (シングル)	旅行代金 (ツイン)
A-S	A-T	神戸ポートピアホテル（大会会場）	大会会場	18,000 円	12,500 円
B-S	B-T	ホテルパールシティ神戸	大会会場より徒歩 10 分	10,500 円	8,500 円
C-S	C-T	アリストンホテル神戸	大会会場より徒歩 7 分	10,500 円	9,500 円
D-S	D-T	ホテルサンルートソプラ神戸	三宮駅より徒歩 10 分	9,500 円	8,000 円
E-S	E-T	神戸三宮東急 REI ホテル	三宮駅より徒歩 5 分	11,500 円	9,700 円
F-S	設定なし	三宮ユニオンホテル	三宮駅より徒歩 10 分	11,000 円	設定なし
G-S	G-T	ホテルピエナ神戸	三宮駅より徒歩 8 分	11,500 円	9,900 円
H-S	H-T	ホテルクラウンパレス	神戸駅より徒歩 7 分	12,000 円	10,000 円

※全室共通：バス・トイレ付

※相部屋のお申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承願います。

➤ お弁当のご案内（旅行契約に該当いたしません）

お弁当（お茶付き） 1, 0 0 0 円（税込） 11 月 26 日(月)・11 月 27 日(火)の予約を承ります。

➤ 懇親会のご案内（募集型企画旅行契約にて承ります）

日時：11 月 26 日（月）18：15 開始（約 2 時間程度）

会場：神戸ポートピアホテル

懇親会参加費：お一人様 7, 0 0 0 円（税込）

➤ 大会参加費（旅行契約に該当いたしません）

家族・医療福祉支援者・一般：3, 0 0 0 円

当事者：5 0 0 円

学生：1, 0 0 0 円（高校生以下無料）

（大会参加費につきましては、事務局様のご依頼に基づき、株式会社 JTB 神戸支店が代行集金致します）

➤ 日帰り観光のご案内（募集型企画旅行契約にて承ります）

【申込記号 A】 白鶴酒造資料館見学とファンタジー号乗船コース

- ◆旅行代金：大人お一人様 8,500円
- ◆募集人員：40名様（最少催行人員20名）
- ◆出発日：2018年11月27日（火）
- ◆利用交通機関：貸切バス（バス会社名：東豊観光又は帝産観光バス又は大阪バス又は扇観光）
- ◆添乗員付き
- ◆食事条件：昼食1回

貸切バス					
ポートピアホール	====	神戸酒心館（ご昼食）	====	◎白鶴酒造資料館	====
	13:00	13:30	14:20	14:35	15:15
====	◎ファンタジー号 乗船	====	ラウンドワン三宮駅前店 前		
	16:00	17:00	17:30		

※○印は下車観光、◎印は入場観光します。
※当日の道路状況により、多少時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【申込記号 B】 神戸北野エリアでのランチと「スーパーコンピューター京」見学コース

- ◆旅行代金：大人お一人様 7,900円
- ◆募集人員：40名様（最少催行人員20名）
- ◆出発日：2018年11月27日（火）
- ◆利用交通機関：貸切バス（バス会社名：東豊観光又は帝産観光バス又は大阪バス又は扇観光）
- ◆添乗員付き
- ◆食事条件：昼食1回

貸切バス				
ポートピアホール	====	ホテル北野プラザ六甲荘（ご昼食）	====	====
	13:00	13:30	15:00	
====	◎「スーパーコンピューター京」 見学	====	====	====
	15:30	16:45		
====	ラウンドワン三宮駅前店 前			
	17:15			

※○印は下車観光、◎印は入場観光します。
※当日の道路状況により、多少時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

●日帰り観光に参加ご希望の方は、申込書の日帰り観光欄に申込記号をご記入ください。

➤ お申し込み方法

- 1、申込用紙に記入いただき、株式会社 JTB 神戸支店まで FAX またはメールにてお申し込みください。（先着順）
- 2、お申込受付後、10月22日(月)以降から順次、請求書、旅行条件書詳細及び各種利用券を申込代表者様宛にお送りいたします。
- 3、請求書が到着次第、同封の旅行条件書を確認の上、指定日までにお支払い願います。
※振込手数料はお客様のご負担となります。予めご了承ください。

➤ お申込締切りとお支払について

申込締切：10月12日（金） 支払期限：11月9日（金）

➤ 変更・取消のご案内

- ・お申し込み内容に変更が生じた場合、加筆修正の上、FAXにてご連絡願います。お電話での受付は行っておりませんので、予めご了承ください。
- ・大会参加費については返金いたしません。予めご了承ください。
- * 下記取消料は、お申し出頂いた日が弊社営業日・営業時間内を基準として適用いたします。

宿泊に関する取消料（1泊につき）		
旅行契約の解除期日		取消料
旅行開始日の前日から 起算してさかのぼって	8日前まで	無料
	7日前～2日前	20%
前日		40%
当日		50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加(不泊)		100%

お弁当・懇親会に関する取消料	
取消日	取消料
5日前まで	無料
4日前から	100%

※ご宿泊当日12時までに当支店または宿泊施設に取消連絡のない場合は無連絡不参加として取扱い、100%の取消料を申し受けます。

日帰り旅行に関する取消料		
旅行契約の解除期日		取消料
旅行開始日の前日から 起算してさかのぼって	11日前まで	無料
	10日前～8日前	20%
	7日前～2日前	30%
前日		40%
当日		50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加		100%

--旅行企画・実施/旅行申込・問合せ-- 観光庁長官登録旅行業第64号

株式会社JTB 神戸支店 一般社団法人日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員

「第11回 全国精神保健福祉家族大会 in 兵庫 受付」係 担当：杉本・中川

TEL：078-384-1244 FAX：078-570-0159

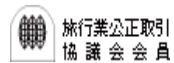
〒651-0087 神戸市中央区御幸通4-2-20 三宮中央ビル5F 総合旅行業務取扱管理者：岩谷 友晴

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

営業時間 平日9：30～17：30（土・日・祝休業）

* お電話でのお問い合わせは午前中をお願いいたします。

* 大会内容に関するお問い合わせは兵庫県精神福祉家族会連合会までお願いします。



ご旅行条件書（要約）

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので、事前にご確認の上お申し込みください。本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面及び同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。この条件に定めのない事項は、当社旅行業約款（募集型企画旅行契約の部）によります。当社旅行業約款は当社ホームページからご覧頂けます。

●募集型企画旅行契約

この旅行は株式会社JTB 神戸支店（兵庫県神戸市中央区御幸通4-2-20 三宮中央ビル5階 観光庁長官登録旅行業第64号。以下「当社」という）が企画実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」という）を締結することになります。また、旅行条件は、下記による他、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、下記のお申込金を添えてお申し込み下さい。お申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。
- (2) 電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払をしていただきます。
- (3) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。

(4)お申込金（おひとり） 旅行代金全額

●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって13日目にあたる日より前（お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日までに）にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

◆旅行代金に含まれるもの

旅行日程に記載された日程の運送機関の運賃・料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）、宿泊費、食事代及び消費税等諸税、これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻し致しません。ただし、コースに含まれていない交通費等の諸費用及び個人的諸費用は含みません。

●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

・死亡補償金：1500万円 ・入院見舞金：2～20万円 ・通院見舞金：1～5万円 ・携行品損害補償金：お客様1名につき～15万円（但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。）

●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員（以下「会員」といいます。）より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと（以下「通信契約」といいます。）を条件にお申込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。（受託旅行者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行者により異なります。）

(1) 契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき（e-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様の到達したとき）とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。

(2) 「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。（但し、成立日が旅行開始前日から14日目にあたる日より前の場合は「14日目（休業日にあたる場合は翌営業日）」とします。）また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。（但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として払い戻します。）

(3) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

●国内旅行保険への加入について

旅行先において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で十分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、販売店の係員にお問合せください。

●事故等のお申出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込店にご通知ください。（もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。）

●個人情報の取扱について

(1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。

(2) 当社は、旅行先でのお客様のお買い物等の便宜のため、当社の保有するお客様の個人情報を土産物店に提供することがあります。この場合、お客様の氏名及び搭乗される航空便名等に係る個人情報をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供いたします。なお、これらの個人情報の提供の停止を希望される場合は、お申込店に出発前までにお申し出ください

●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2018年6月1日を基準としています。又、旅行代金は2018年6月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

●利用バス会社

東豊観光又は産産観光バス又は大阪バス又は扇観光

第11回 全国精神保健福祉家族大会 in 兵庫 参加申込書

●開催日：平成30年11月26日(月)～27日(火) ●申込締切日：平成30年10月12日(金)
 【申込先】株式会社JTB 神戸支店 担当：杉本・中川 【FAX】078-570-0159
 【E-Mail】minnet@jtb.com

住所：〒651-0087 神戸市中央区御幸通4-2-20 三宮中央ビル5階 営業時間：平日9:30～17:30 土日祝日は休業
 TEL：078-384-1244 ※お電話でのお問い合わせに関しまして、午後は回線が込み合いますので可能な限り、午前中にお願致します。

旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊期間・保険会社等への個人データの提供について同意のうえ、以下の旅行に申し込みます。

初回申込日： 月 日 <新規>
 変更・取消日： 月 日 <変更・取消>

当社記入欄	
登録	発送
変更	入金

都道府県名	フリガナ	(フリガナ)
所属団体 グループ名	連絡ご担当者名	
書類送付先住所 (勤務先・自宅) *〇印をご記入ください	〒 -	電話番号 FAX番号
連絡先	(任意)	

記入例	ふりがな	性別	参加種別	希望分科会			宿泊			昼食弁当		懇親会	日帰り観光	備考
				第1希望	第2希望	第3希望	第1希望	第2希望	第3希望	11/26(月)	11/27(火)			
ひょうご はなこ	男(〇)	家族・一般・行政 医療福祉支援者 当事者・学生	1	2	3	A-S	B-S	〇	〇	〇	〇	A	ツイでお申込の方は 同室希望者を下記に ご記入ください。	
兵庫 花子	男・女	家族・一般・行政 医療福祉支援者 当事者・学生												
	男・女	家族・一般・行政 医療福祉支援者 当事者・学生												
	男・女	家族・一般・行政 医療福祉支援者 当事者・学生												
	男・女	家族・一般・行政 医療福祉支援者 当事者・学生												
	男・女	家族・一般・行政 医療福祉支援者 当事者・学生												

※大会参加費：家族・一般・行政・医療福祉支援者 3,000円 当事者 500円 学生 1,000円 (高校生以下無料) (複数お申込みの場合は、本用紙をコピーしてお使いください。)

※大会参加費は大会事務局に代わって、株式会社JTB 神戸支店が申し込みを代行收受するものです。

※お申し込み後の取消・変更につきましては、当申込書を上書き訂正のうえ、用紙右上の「変更・取消」欄に日付と該当する項目に〇印をつけて FAXにてご連絡ください。

※読みやすい字でご記入いただきますよう、よろしくお願致します。

【通信欄】 ※その他ご連絡事項等がございましたら、こちらにご記入ください。例) 請求書を分割してほしい。請求書の宛名を〇〇として欲しい。車椅子・手話通訳の手配が必要。など



公益社団法人全国精神保健福祉会(みんなねっと)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-46-13 ホリグチビル 602

TEL 03-6907-9211 FAX 03-3987-5466

ホームページ: <http://seishinhoken.jp/> **メルマガ会員募集中です! (無料)**

全国精神保健福祉会連合会の活動

- 各種制度や施策の向上を目指し活動します
- 「家族による家族学習会」を運営しています
- 精神障害について啓発・普及をすすめます
- 月刊みんなねっとを発行しています
- 学習会など、家族が力をつけるための支援をしています

LINE公式アカウント
@minnanet

公式ツイッターはじめました
@minnanet で検索☆

注文書 ● 電話 03-6907-9211 ファックス 03-3987-5466 HP から

① 賛助会員申込 ※年度単位は4月～3月です ※2年目以降は自動継続となります

	個人賛助会員【入会月～3月までの月数】×300円	
	団体賛助会員()名※2名様以上【入会月～3月までの月数】×300円 (会費の一部還元がありますのでお電話等でお問合せください)	
	特別賛助会員 5000円×()口	

② 書籍注文

① 相談事例集	1080円(会員割引 1000円)	冊
② 統合失調症を正しく理解するために	200円	冊
③ うつ病を正しく理解するために	300円	冊
④ 家族会運営のてびき	800円(会員割引 600円)	冊
⑤ 家族相談ハンドブック	700円(会員割引 500円)	冊
⑥ 精神障がい者と家族に役立つ 社会資源ハンドブック(改訂版)	1400円	冊
⑦ 家族の支援等のあり方に関する全国調査	880円(会員割引 800円)	冊

③ 申込者情報

氏名 団体名	ふりがな	申込日 年 月 日
住所	〒	TEL
		FAX
		Eメール
備考	(家族会からのご注文の場合、家族会名など)	



